

JAUW 茨城支部だより 2015年度-1号

URL <http://jauw-ibaraki.net/> 2015年6月2日 (一社)大学女性協会(JAUW)茨城支部

《支部長挨拶》 加藤 光子



戦後70年という大きな節目に、大学女性協会茨城支部長という大きな使命を頂きました。茨城支部が設立されたのは1948年、関みさを初代支部長さんから今年で67年目を迎え、16代目の支部長になるようです。

大先輩のS先生始めとして歴代の支部長を務められた先輩の方々が元気でおられ、見守って下さっており、また、支部長経験者が役員として支部を支えて下さっています。女性の地位向上のために地道に調査活動と報告書も作成し続けて、現在の茨城支部があるのだと感慨深い思いです。

私が入会したのは、平成11年M支部長時代ですから、私よりずっと長い間支部の発展に寄与されていらした大先輩を差し置いてなのは荷が重く辞退したいところですが、大先輩方々と個性豊かな優秀な会員の皆様のお力をお借りしながら、茨城支部が一步前進出来ますよう、調整役に徹するリーダーでありたいと考えております。

奇しくも茨城支部設立の時に生まれ、女性の地位向上に寄与されてきた当会の運動の大きな流れの中で、私も教育を受け、今の自分の人生があるのだという感謝の念からお引き受けました。

この度は、ご恩返しのおいで支部長を務めさせていただきます。皆様の温かいご指導とご協力をお願い申し上げます。



《7月定例会のお知らせ》



「コーヒーに親しむ」

～美味しい淹れ方と豆知識～

「コーヒーは長生きの秘訣！」先ごろ、こんなニュースが流れました。一日に3～4杯が良いそうです。せっかくいただくなら家でも美味しいコーヒーを淹れてみたいですね。実習形式の講座を企画しました。皆さま、くつろぎのひと時をお楽しみください。

日時 7/11 (土) 13:30

会場 サザコーヒー茨城大学(水戸キャンパス図書館) ライブラリーカフェ

水戸市文京2丁目1-1 (029-274-1151)

会費 1,500円 (コーヒー教室受講料 ケーキ付)

申込 7月1日(水)までにハガキ・ファックス・メールでお願いします



《2015年度支部総会に参加して》

4月25日(土)、みと文化交流プラザにおいて、大学女性教会茨城支部2015年度総会が行われました。

はじめに今高博子支部長は挨拶において、茨城支部の活動を「全員野球」に喩え、一人一人の力を集め、みんなで作ってあげてきた歴史を振り返りました。

続いて茨城県女性青少年課からご挨拶をいただき、県の男女共同参画にかかる施策に対して今後も大学女性協会が果たす役割に大きな期待を寄せていただきました。

その後2014年度の事業および会計報告、監査報告、2015年度の事業計画および予算案、新役員改選と議事が進み、すべてがとどこおりなく承認されました。2014年度は家庭科教員との座談会、公開講演会、市民公開講座、茨城大学出前講座、調査報告書の作成等、充実した活動展開が見られた1年であり、年度報告を通じその実りを会員間で共有しました。

閉会后、今高支部長の退任にあたり、加藤光子新支部長からお礼の言葉と花束が贈られました。4年にわたり支部長の重責を担ってこられたことへの感謝の気持ちあふれる場面は、感動と支部の団結力を感じさせるものでした。

さらに加藤新支部長は支部長としての決意と今後の事業方針について力強く語られ、2015年度の新体制のスタートが切られました。

茨城支部の確かな歩みと、新たな発展を感じる総会となりました。

(井上記)

新入会員のご紹介

- ① 那珂市のIさん ② 常総市のKさん ③ 筑西市のSさん ④ 北茨城市のTさん
⑤ つくば市のTさん ⑥ つくば市のYさんの6名の方々が新会員となりました。

2015年度 茨城支部 新役員

- 支部長 1名 加藤 光子
副支部長 4名 (本部担当) Mさん
(書記担当) Yさん
(会計担当) Hさん
(プロジェクト担当) Nさん
会計 2名 Aさん Iさん
書記 3名 Iさん Kさん Hさん
監事 2名 Iさん Zさん
以上の12名の役員体制で運営していきます。



ご案内

《茨城大学 連続出前講座実施します!》

「日々の幸せのために～ワークライフバランスを考える～」

昨年に続き、長谷川幸介先生の授業の時間に出前講座を行う機会を頂戴しました。

「茨城支部で実施した調査の結果や25年前の漫画を提示して幸せやジェンダーについて考えてもらう」という昨年の内容を踏襲しつつ、昨年以上に私たちの思いを学生に伝え、私たちも何かを学び取れる講座にしたいと考えております。

日程は下記の通りです。

- ・1回目 6/16(火) 調査結果の報告とグループ討議
- ・2回目 6/23(火) 漫画を使用したワークショップ
- ・3回目 6/30(火) ミニシンポジウム

時間は16:20~17:50、場所は共通教養棟22番教室

集合時間は15:50(茨城大学図書館内サザコーヒー)

◆実施に先立ち6/8(月)15:00~ 茨城大学図書館グループ学習室にて打合せを行います。

ご興味がある方は是非ご参加ください。

連絡責任者: 上月

《公開全国セミナーつくば市で開催!!》 「女性の自立とは?～女性の自立を阻むものは何か～」

10月17日(土)、18日(日)の2日間、つくば国際会議場で本部主催の全国セミナーが開催されます。17日(土)の基調講演の講師はひたちなか市出身で前実践女子大学教授・内閣府男女共同参画会議議員鹿嶋 敬さん。支部発表では茨城支部から井坂美子会員が発表します。終了後は会議場のレストランで懇親会(立食)もあります。

18日(日)は、長沼早苗会員が税理士の立場で「税制は女性の自立を阻んでいないか」について話します。そのほか①「女性と法律・社会通念」②「女性と税制・社会保障」③「女性と仕事」の分科会に分かれての討議やパネルディスカッションもあり、①の分科会では中島美那子会員がリーダーを務めます。詳しくは後日本部から送付されます。会員のみならず、参加し、大いに討議し、成果をとともに分かち合ひましょう。

(本部調査・研究担当理事 松本記)

《3月定例会に参加して》 ベルギー・イギリスの教育事情

長谷川典子会員(前常総市長)のハーモニーフライトの報告はさすがでした。

スライドもわかりやすく、聞いている私たちも現地にいるかのようにワクワクしました。学校自体がお城で、庭のリンゴの木からリンゴをもらってジャムを作ってくれたり、住み込みの専任コックの作る立派な食事を立派な食堂で食べたり、勉強は厳しいが宿題は無し(ブリュッセルのボガーツクール)とか、移民が多いので各国からの子供たちの信頼関係を保つ教育を行い、セキュリティも堅固、しつけも厳しいが育児サービスの選択肢は沢山ある(ロンドンのジョーシトムリンソンスクール)とか、中高一貫の女子校なので90%が大学進学だが、その先々までも指導する(バンバリーのチューダホールスクール)とか。

いじめはあるが、「絶対許さない」というのが印象的でした。何かまずいことをしたら3歳児でも3分間“Thinking Chair”に座らされ、「私たちは正直です」など12か条のGolden Rulesを考えさせられるとか、“I have that I may give”(私には差し上げられるものがある)のモットーの元、自分にプライドをもち、チャレンジ精神を養うとか、学校のモットーは“尊敬・勤勉・健康”であるとか、各学校とも愛情をもって一生懸命、子供を育てているのが解りました。

チューダスクールの交流会で、漢字を書いたウチワをもち、きれいな浴衣を着せてもらって吹き戻しや紙風船で遊ぶ嬉しそうな女の子たちを見ていると、この研修旅行は成功ですねと拍手を送りたくりました。

(後藤記)



◇ ————— ◇◇◇ ————— ◇◇◇ ————— ◇◇◇ ————— ◇

《第4回定時会員総会に参加して》 仙台市にて



嵐の朝から一転…青空の下、初めての全国総会参加で仙台にいて参りました。懇親会開始までに時間があつたので仙台市に隣接する名取市にあるロクファームアタラタへ。東日本大震災後2012年に設置された六次産業化モデルファエで昼食をとり、お店の方にお話を聞いてきました。現在就労しているのは軽度障害者40名程。健常者のパートタイマーの方と同程度の時給で働いている人もおり、併設された農園での作業にも従事することもできるそうです。

茨城でも6次産業化のアイデアには、情報発信基地としてのレストランなどアウトプットできる施設が必要だということを実感しました。

総会前夜の懇親会では仙台支部が用意して下さった「そうのババール」のミニコンサート…すてきな時間でした。フルコースを堪能しおなかいっぱい…マンチェスターIFUW 総会でヤングブリーフと一緒に参加し、行動を共にしていた山下いづみさん(現:静岡支部長)と8年ぶりの再会!! 情報交換の時間を持つ事ができました。

今回130年以上受け継がれてきたIFUWの名称変更報告には驚きましたが、法人格の見直しなど時代の要請は日本だけではないことも知りました。水郡線発乗車も果たし「乗り鉄」体験もして参りました。全国の会員のみならずが集う10月のつくばセミナーが楽しみです。(井坂記)

《第4回定時総会後の研修旅行について》 ～関上などの被災地をめぐって



総会の翌日、2台のバスに分乗し80人の会員が被災地の実情を見、知り、理解するための研修に参加した。生徒、先生、地域の住民計320人が校舎の4階と屋上に避難し、翌日ヘリコプターに救出された荒浜小学校。遠くに蔵王の連山を臨む海岸地域は住宅や田畑がすっかり流され、エニシダの黄色い花が咲き乱れていた。滑走路も、空港ビルの1階半ばまでも浸水した仙台空港。名取市の関上（ゆりあげ）地区では小高い丘の日和山に上がると何も無い周囲が見渡せた。そのすぐ隣には津波の高さの「芽生えの塔」、慰霊塔などが立ち並び、仙台名物「笹かまぼこ」佐々直の社長さんが当時の様子を話して下さった。工場の冷蔵庫にあったかまぼこを被災住民に配布して喜ばれたこと、内陸部の被害の少なかった工場で生産の再開を時間をおかずにできたこと、関上の工場は被災記念物として今は地域の目印にもなっていることなど。見学後、仙台郊外茂庭にある旧伊達邸鐘景閣でおいしい昼食をいただき、車窓から市内を眺めながら仙台駅に向かった。（牧島記）

《国際婦人年連絡会について》

JAUWが加盟している団体の一つで、県で言えば茨城県女性団体連盟のような立場にあり、全国規模で活動している36女性団体が加盟しています。1975年の世界女性年に発足し、今年で創立40年になります。3人の世話役を含む常任委員会があり、8つの分野別委員会それぞれの座長も構成員です。2015年度は5月20日に定例総会があり、各委員会の活動も始まっています。年間30近くの要望書や声明を関係各機関に届けたり、議員会館などにも出向きロビー活動などもしています。今年は11月22日に新宿の東京女子医科大学の弥生記念講堂で「2015NGO 日本女性大会」を開催しますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。

《茨城県女性団体連盟平成27年総会に参加して》

2015年5月22日 茨城県女性プラザ男女共同参画支援室

総会は平成26年度事業と決算報告並びに監査報告が行われ、続いて平成27年度事業と予算案の提示がなされました。その後平成27年度役員案が選考委員長から発表され承認されました。

最後に新加盟団体の「茨城県生活学校連絡会」の紹介と田山知賀子新会長からの挨拶があり閉会となりました。

総会終了後11時から水戸ヤクルト販売株式会社代表取締役社長内藤学さんから「女性が輝く会社経営術」をテーマとして講演がなされました。

最初に内藤社長の自己紹介があり、趣味が落語で芸名を「好文亭文文」と称されるかたなので饒舌な語り口の笑いの絶えない時間が始まりました。誰でも知っていると思われるヤクルトの発見や商品に至るまでの歴史がプロジェクターで紹介され初めての情報で興味深いものでした。ヤクルトの免疫ライフの素晴らしさはNHKスペシャルの『腸内フローラ驚異の細菌パワー』で報道されました。テーマに「女性が輝く会社経営術」掲げるように約800名の女性が仕事に従事し、その職場環境はとて良好と感じました。特に企業内保育所は全国に広がり充実していると報告されました。社長の夢はお客様の「免疫力」アップ 日本の「健康寿命」を「平均寿命」に近づけること。（ピンピンコロリン）そして会社をお客様から日本一愛され必要とされ、役に立つ会社にすることと述べられ終了いたしました。

講師からの一言、すぐにできる小断『ねえさん粋だねえ！』『あたしゃ帰りだよ！』……

（幡谷 記）



編集後記 70才でゴルフを始めました。だいぶ前に日野原重明先生の「90歳になったらゴルフを始める」の言葉が頭にあり、それじゃ私は70歳にしとこうか…てなわけです。まだ、誘ってくれる友人もいるし……。サミュエルの青春の言葉を胸に刻み、暇を見つけていっています。

（H・I）